

総合問題Ⅱは、主として論理的かつ多面的な思考力、表現力を問う記述試験である。

〔1〕

**問 1:** 題材は「自殺予防」と題された本からで、生命に関わる内容であると同時にこころのケアに関わっており、医学部入試にふさわしいと考えて出題した。一般的に言って、こころのケアには、クライアントの心情理解が大切であると同時に、なぜそうするのかという論理的思考が重要である。よって、発問は題材の論理的解釈を適切に行えているかどうかを十分に確認したうえで、その上で論理的に対策を考えられるかどうかを発問した。論理的に題材を理解し、自己の体験をもとに論理を展開できるかどうかまで踏み込んでおり、受験生の論理的思考を適切に評価できると考えている。

**問 2:** 問題文は、戦時の軍需動員により住み慣れた実家を離れて軍需工場に働きに出ようとする娘と、娘を送り出す家族を描いた小説の一場面である。まずは、漢字の読み書きを出題して読解力の基礎を問う。次に、問題文の空欄に適切な語句を選択する問題を設定し、文脈に即して内容のつながりを把握できる力を問う。さらに、登場人物の気持ちおよび心理を推測して規定の文字数以内で筆記を行わせる記述問題を設定したが、それらは文面には直接的に表出されていない気持ちや心理を推測する力を問うとともに、基礎的な文章表現力を確認する意図をもって出題している。

〔2〕

**問 1:** 本問題では、図1と表1において平均寿命の性差(女性の平均寿命 - 男性の平均寿命)の年次推移を示し、図2において疾患別死亡率の男女比(男性÷女性)の年次推移を示している。この異なる方法で表示された結果から、事実を読み取り思考する力を試している。

**問 2:** 将来の医療人として自然科学一般について、幅広く学ぶために必要な基礎学力と論理的洞察力を備え持つ学生を求める観点から、2024年に世界的に話題になった周期ゼミの発生メカニズムを通して、下記の思考力について問う問題である。(1)においては、それぞれの周期ゼミが会う頻度を算出することにより、論理的思考力や計算力を、(2)(3)においては、グラフの解釈力やそれに基づく多角的な思考力を問う問題である。